

文化的財・サービスの貿易は 直接投資を増加させるのか

南山大学経済学部 寶多研究会

細田紗耶華 中嶋功明 竹田有希 山田真由

【動機・背景】



文化の国際交流の意義

- 国際文化交流

国境や言語、民族を超えた人々の心の結びつき⇒世界平和と経済発展の礎が築かれる
＝個性ある日本の文化を育て世界に発信していくことの重要性

- 文化庁の文化芸術の振興

- 各分野における国内外の公演活動に対する支援
 - －多様な文化芸術、文化財等
 - 文化芸術団体等の創造活動が活発になる**

- 海外の文化遺産保護にかかる国際協力の推進

- 芸術文化振興基金（独立行政法人日本芸術文化振興会）



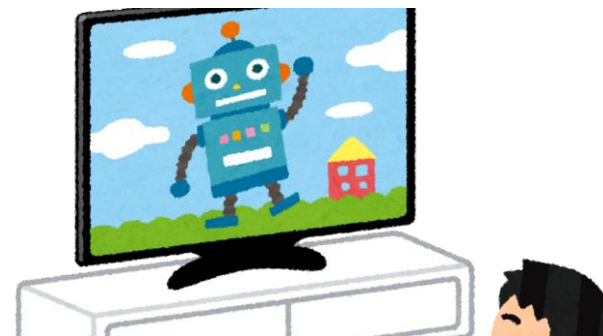
文化的財・サービスとは

～UNCTADSTAT（国連貿易開発会議）による定義を採用～

- ・ 文化的財
 - ①美術工芸品(紙細工)
 - ②オーディオビジュアル（DVD）
 - ③デザイン（建築）
 - ④新しいメディア(ビデオゲーム)
 - ⑤舞台芸術(楽器)
 - ⑥出版(本)
 - ⑦視覚芸術(絵画)

～OECD iLibraryによる定義を採用～

- ・ 文化的サービス
 - ①個人的サービス
 - ②文化的サービス
 - ③娯楽サービス



例：アニメ放送、展示会

文化的財の性質

- ・ 文化的財は消費の**中毒性**を持つ

例) **ドラえもん**を見て日本に興味を持つ！



ほかの日本のマンガも読みたい！



ドラゴンボールを読み始める



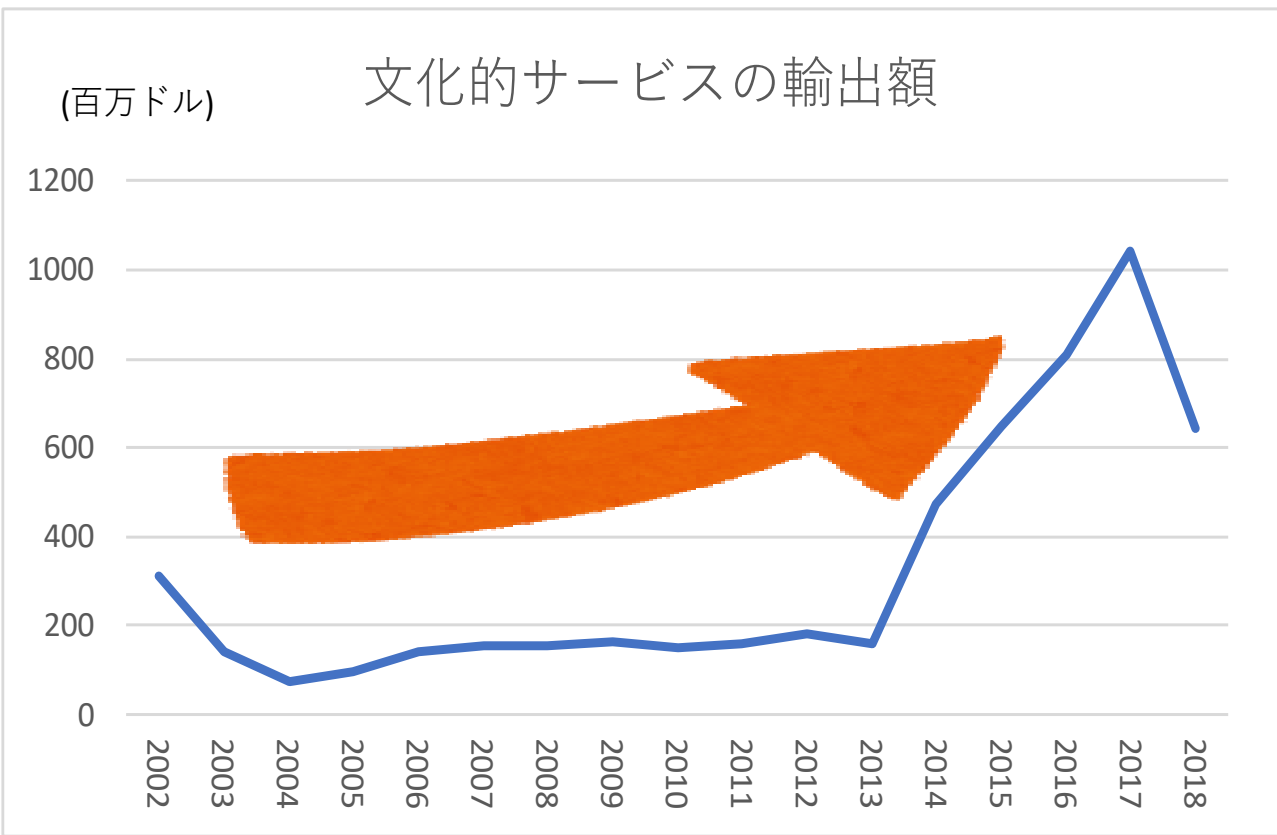
新たな消費が生まれる



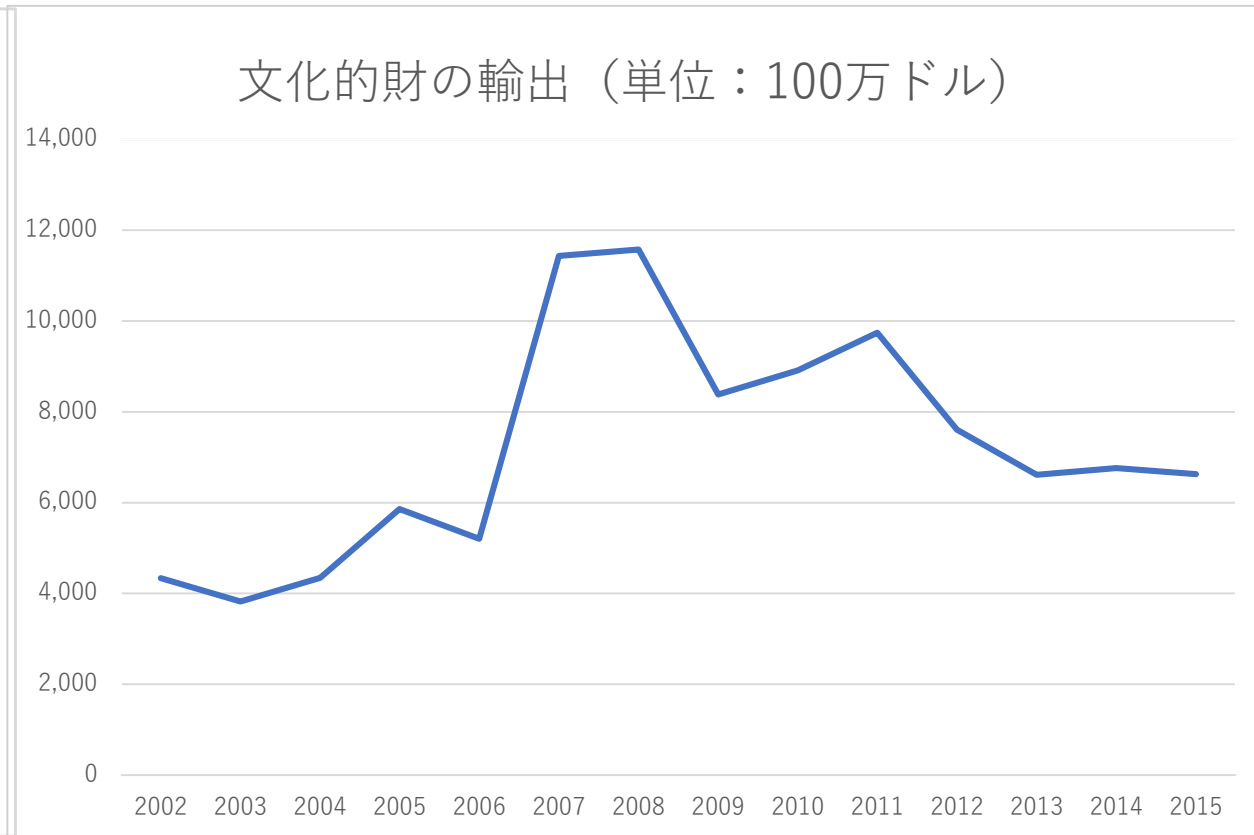
輸出額増加



政府の取り組みに対し実際は…

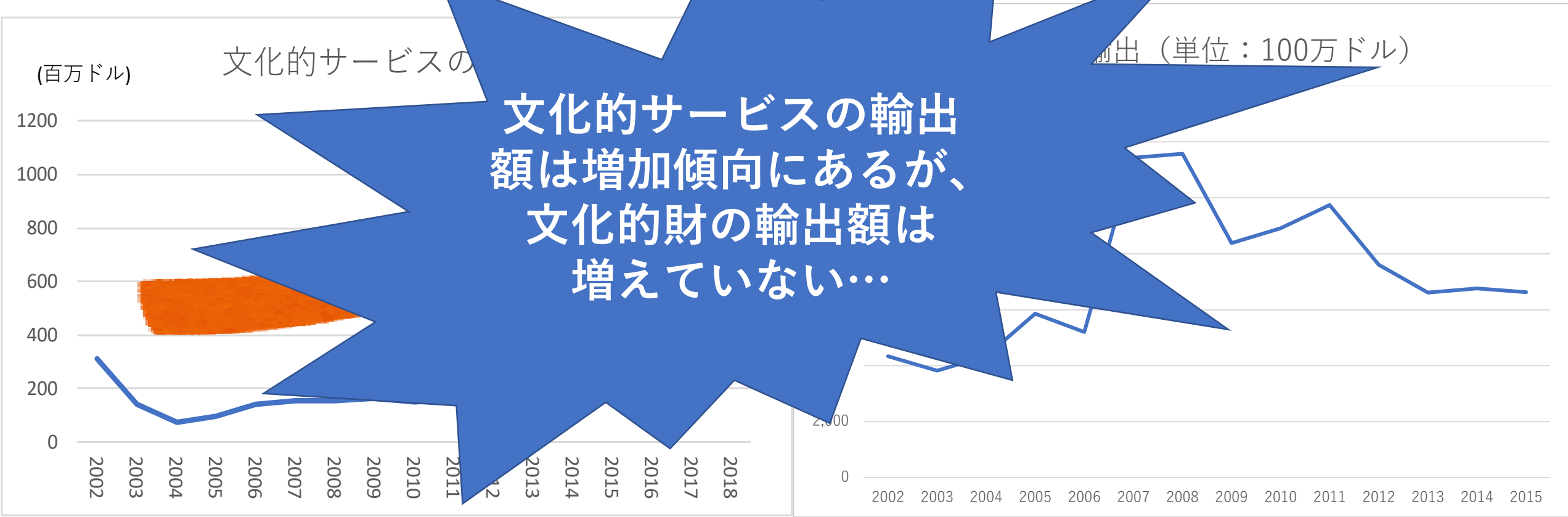


OECD iLibraryより作成



UNCTADSTATより作成

政府の取り組みに対し実際は…



OECD iLibraryより作成

UNCTADSTATより作成

目的

- ①文化的財の輸出額が対内直接投資（IDI）・対外直接投資（FDI）
に与える影響を明らかにする。
- ②文化的サービスの輸出額がIDI・FDIに与える影響を明らかにする。
- ③文化的財・サービスを用いて直接投資を増やすための政策提言

直接投資増加の影響

FDIの増加

- ・ 現地市場での販売が増加→低コストでの生産が可能
- ・ 外国人人材確保の難航、為替変動のリスク

IDIの増加

- ・ 我が国における生産性の向上や雇用の増加
- ・ 国内シェアが低下し、投資前と比べ利益が外国に流出し易い

主な結果

文化的財の輸出額増加はFDI額・IDI額の増加に正の影響を与える

文化的サービスの輸出額増加はIDI額の増加に正の影響を与える

先行研究①

神事・田中ら（2013） 「文化的国際貿易に関する実証分析」
RIETI Discussion Paper Series 13-J-059

文化的財の貿易は**歴史的・文化的要因**との相関
が大きい。

→言語・植民地関係などが大きな役割を果たしている

→文化多様性条約への加盟が文化コア財の輸出額と正の相関
がある。

※文化コア財…文化遺産・印刷物・音楽・視覚芸術・写真、映画

先行研究②

南山大学 寶多康弘研究会（2019年11月）「文化的財の貿易が
国際貿易に与える影響について」 ISFJ2019 最終論文

文化的財の貿易額は対外直接投資に影響を与える

文化的財の輸出



日本の文化に触れる機会ができる



日本製品に対する不信感が軽減



対外直接投資にかかる固定費用が抑えられる



対外直接投資に正の影響を与える

研究の新規性

- ・ 先行研究では、対外直接投資しか触れてなかったが、今回は**対内直接投資**も考慮する

（理由）他の先進国に比べ日本のIDIは極めて少ない
→日本全体の生産性が向上しない

米国：10.84% 中国：1.76% 英国：2.87% 仏国：2.16%
独国：2.63% 韓国：1.56% 台湾：1.19% **日本：0.49%**

（JETRO各国データより作成）

- ・ 文化的財に加え**文化的サービス**も追加的に研究する
（理由）
 - ・ 文化的サービスの輸出が増加傾向にある
 - ・ 文化的サービスも加えることでより正確な分析結果が得られる

日本の貿易

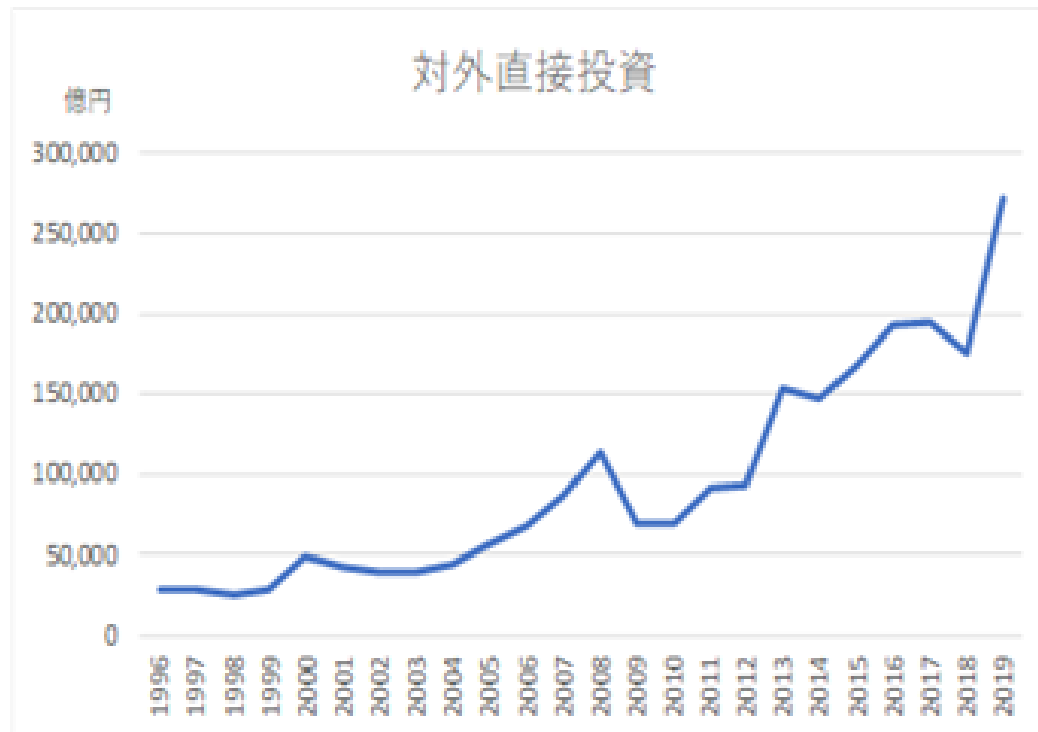
- ・ 貿易赤字が続いている
- ・ 輸出：自動車の部分品や半導体関連品を多く輸出、2019年の輸出額は前年に比べて4兆円以上減少
- ・ 輸入：鉱物性燃料や電気機械、化学製品を多く輸入、2019年の輸入額は前年に比べて4兆円以上減少



対世界輸出入額及び差引額の推移（1950 - 2019）（財務省貿易統計「最近の輸出入動向」（2020）より作成）

日本の直接投資

- ・ 対外直接投資(FDI)：増加傾向にある = 日本企業におけるグローバル化の動きが進んでいる
FDIに先行して輸出が行われる = 輸出が増えると将来的にFDIが増える
- ・ 対内直接投資(IDI)：伸び悩んでいる = 外国企業の高度な経営資源が日本に入っていない
IDIに先行して輸入が行われる = 輸入が増えると将来的にIDIが増える

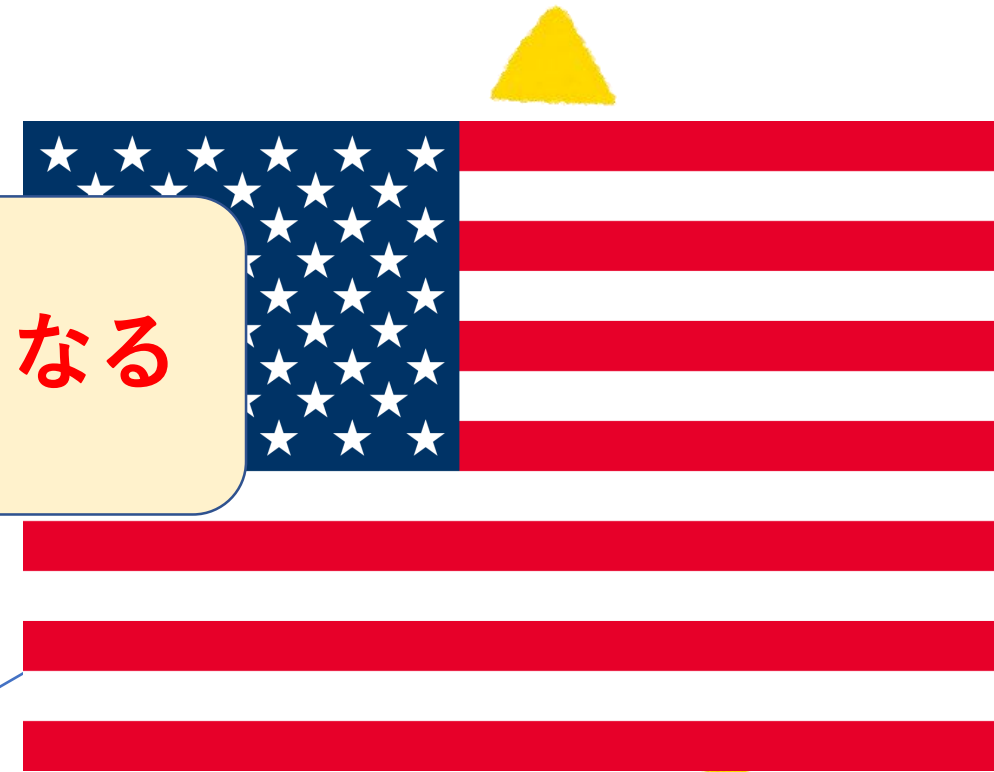
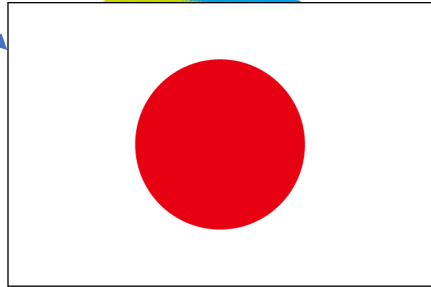


重力方程式とは

距離が**近く**、**GDPが大きい**と貿易額が**大きくなる**



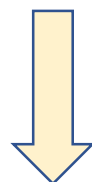
近い



大きい

重力方程式の解釈

$$\ln \text{貿易額} = \alpha (\text{定数値}) + \beta_1 \ln \text{輸出国GDP} + \beta_2 \ln \text{輸入国GDP} + \beta_3 \ln \text{距離} + \text{残差}$$



(計算結果)

$$\ln \text{貿易額} = \alpha + \mathbf{1.5} \ln \text{輸出国GDP} + \mathbf{2} \ln \text{輸入国GDP} + (\mathbf{-1.4} \ln \text{距離}) + \text{残差}$$

- ・ 輸出国GDPが1%大きいと、貿易額は**1.5%**大きくなる
- ・ 輸入国GDPが1%大きいと、貿易額は **2%**大きくなる
- ・ 2国間の距離が1%大きいと、貿易額は**1.4%**小さくなる

(距離が離れると国際間の交流が少なくなる傾向があるため)

重力方程式による分析：“対外”直接投資（FDI）

$$\ln FDI_{ij} = \alpha + \beta_1 \ln \text{Export culture}_{ij} + \beta_2 \ln GDP_i + \beta_3 \ln GDP_j + \beta_4 \ln \text{Distance}_{ij} \\ + \beta_5 \ln \text{Tourists}_j + \beta_6 D_j^{\text{WTO}} + \beta_7 D_{ij}^{\text{FTA}} + \beta_8 D_{ij}^{2009} + \beta_9 D_{ij}^{2011} + \varepsilon_{ij}$$

(文化的財の輸出)

$$\ln FDI_{ij} = \alpha + \beta_1 \ln \text{Export service}_{ij} + \beta_2 \ln GDP_i + \beta_3 \ln GDP_j + \beta_4 \ln \text{Distance}_{ij} \\ + \beta_5 \ln \text{Tourists}_j + \beta_6 D_j^{\text{WTO}} + \beta_7 D_{ij}^{\text{FTA}} + \beta_8 D_{ij}^{2009} + \beta_9 D_{ij}^{2011} + \varepsilon_{ij}$$

(文化的サービスの輸出)

※iを日本に固定

- $\ln FDI_{ij}$: 対外直接投資額の対数
- $\ln \text{Export culture}_{ij}$: 文化的財の輸出額の対数
- $\ln \text{Export service}_{ij}$: 文化的サービスの輸出額の対数
- $\ln GDP_i$: 輸出国（日本）GDPの対数
- $\ln GDP_j$: 輸入国GDPの対数

- $\ln \text{Distance}_{ij}$: 首都間距離の対数
- $\ln \text{Tourists}_j$: 輸入国から輸出国(日本)への観光客数の対数
- $\beta_6 D_j^{\text{WTO}}$: WTOダミー
- $\beta_7 D_{ij}^{\text{FTA}}$: FTAダミー
- $\beta_8 D_{ij}^{2009}$: 2009年ダミー
- $\beta_9 D_{ij}^{2011}$: 2011年ダミー

重力方程式による分析：“対内”直接投資（IDI）

$$\ln \text{IDI}_{ij} = \alpha + \beta_1 \ln \text{Export culture}_{ij} + \beta_2 \ln \text{GDP}_i + \beta_3 \ln \text{GDP}_j + \beta_4 \ln \text{Distance}_{ij} \\ + \beta_5 \ln \text{Tourists}_i + \beta_6 D_i^{\text{WTO}} + \beta_7 D_{ij}^{\text{FTA}} + \beta_8 D_{ij}^{2009} + \beta_9 D_{ij}^{2011} + \varepsilon_{ij}$$

(文化的財の輸出)

$$\ln \text{IDI}_{ij} = \alpha + \beta_1 \ln \text{Export service}_{ij} + \beta_2 \ln \text{GDP}_i + \beta_3 \ln \text{GDP}_j + \beta_4 \ln \text{Distance}_{ij} \\ + \beta_5 \ln \text{Tourists}_i + \beta_6 D_i^{\text{WTO}} + \beta_7 D_{ij}^{\text{FTA}} + \beta_8 D_{ij}^{2009} + \beta_9 D_{ij}^{2011} + \varepsilon_{ij}$$

(文化的サービスの輸出)

※iを日本に固定

- $\ln \text{IDI}_{ij}$: 対内直接投資額の対数
- $\ln \text{Export culture}_{ij}$: 文化的財の輸出額の対数
- $\ln \text{Export service}_{ij}$: 文化的サービスの輸出額の対数
- $\ln \text{GDP}_i$: 輸出国（日本）GDPの対数
- $\ln \text{GDP}_j$: 輸入国GDPの対数

- $\ln \text{Distance}_{ij}$: 首都間距離の対数
- $\ln \text{Tourists}_i$: 輸出国(日本)から輸入国への観光客数の対数
- $\beta_6 D_j^{\text{WTO}}$: WTOダミー
- $\beta_7 D_{ij}^{\text{FTA}}$: FTAダミー
- $\beta_8 D_{ij}^{2009}$: 2009年ダミー
- $\beta_9 D_{ij}^{2011}$: 2011年ダミー

指標の意義

- ・ 観光客数の対数値：相手国への関心度を表す
相手国の文化に興味・関心を抱く
⇒ 文化に対して嫌悪感や違和感が薄まる
⇒ 直接投資における固定費用低下
⇒ FDI・IDIともに増加すると予想
- ・ WTO・FTA：加盟国同士は自由貿易が拡大 ⇒ 貿易障壁軽減
⇒ FDI・IDIともに減少すると予想
ダミー変数は加盟国が0、非加盟国が1をとる
- ・ 2009年：世界金融危機を考慮
- ・ 2011年：東日本大震災を考慮

使用するデータ

分析を行う対象国は、それぞれのデータが揃っている国の中から、2019年に日本からの総輸出額が大きかった上位30ヵ国を採用する。

データの出典は以下のとおりである。

	変数	単位	出典
被説明変数	対外直接投資	100万USドル	日本貿易振興機構「直接投資統計」
	対内直接投資	100万USドル	日本貿易振興機構「直接投資統計」
説明変数	文化的財の輸出額	100万USドル	UNCTADSTAT
	文化的サービスの輸出額	100万USドル	OECDiLibrary
	GDP	10億USドル	IMF “World Economic Outlook”
	首都間距離	Km	CEPII “The CEPII Gravity Dataset”
	訪日外客数	人	日本政府観光局「訪日外客数・出国日本人数データ」
	日本人出国者数	人	日本政府観光局「訪日外客統計(報道発表資料)」
	WTOダミー	ダミー	WTO “Member”
	FTA・EPAダミー	ダミー	外務省「経済上の国益の革新・保存」
	2009年ダミー	ダミー	
	2011年ダミー	ダミー	

分析結果

	F D I		I D I	
	(1) 式	(2) 式	(3) 式	(4) 式
ln文化的財輸出額	0.361** [0.139]		0.530*** [0.134]	
ln文化的サービス輸出額		-0.179 [0.133]		0.406*** [0.099]
ln日本GDP	3.106* [1.645]	3.347 [2.204]	3.098* [1.731]	2.5785 [2.033]
ln相手国GDP	-0.634*** [0.151]	-0.957*** [0.173]	0.516*** [0.158]	-0.2263 [0.19]
ln首都間距離	-0.427* [0.24]	-0.1572 [0.132]	0.3252 [0.267]	1.301*** [0.296]
ln訪日外客数	-0.476** [0.214]	0.000		
ln日本人出国者数			0.459** [0.211]	1.099*** [0.231]
WTOダミー	-0.6847 [0.886]	-1.7073 [1.978]	-4.202*** [1.058]	-3.717* [2.236]
FTAダミー	0.915** [0.419]	0.794* [0.419]	0.4174 [0.42]	0.6083 [0.381]
2009年ダミー	-0.3119 [0.529]	-0.2945 [0.701]	0.0102 [0.547]	0.005 [0.637]
2011年ダミー	-0.144 [0.667]	0.3812 [0.867]	-1.293* [0.703]	-0.844 [0.819]
切片	-51.12 [48.14]	-47.4249 [64.173]	-103.951** [50.607]	-81.6291 [59.256]

文化的財は
FDI額・IDI額の双方に、
文化的サービスは
IDI額に有意な結果と
なった。

注) “***”、“**”、“*”はそれぞれ $p < 0.01$ 、 $p < 0.05$ 、 $p < 0.10$

注) []内は標準誤差

分析結果 ～FDIの場合～

文化的財の輸出額増加がFDI額に正の影響を与える

文化的財の輸出増加

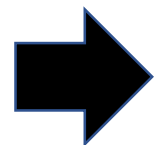
→ 文化的割引の減少

→ 文化的相互理解の増加

→ 文化的相違から生まれる固定費用の減少

↳ 例：文化理解や現地事情を把握するために
現地に赴いて調査する費用

→ 新々貿易理論よりFDI額増



文化的財の輸出はFDIに正の影響を与える

分析結果 ～IDIの場合～

文化的財・サービスの輸出額増加がIDI額に正の影響を与える

文化的財・サービスの輸出増加

→ 文化的割引の減少

→ 文化的相互理解の増加

→ 文化的相違から生まれる 固定費用の減少

↳ 例：文化理解や現地事情を把握するために
現地に赴いて調査する費用

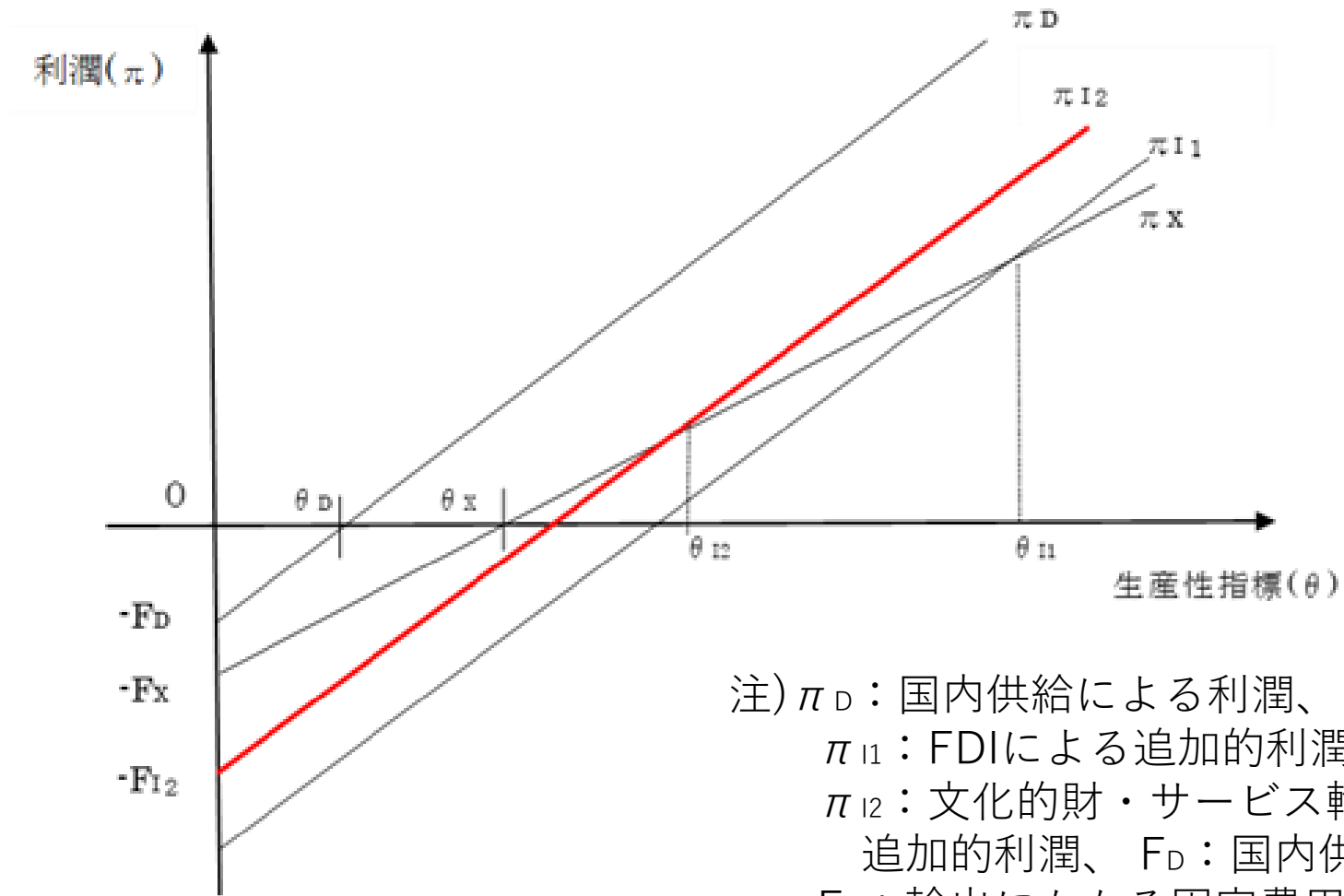
→ IDI額増加

 **文化的財・サービスの輸出はIDIに正の影響を与える**

分析結果

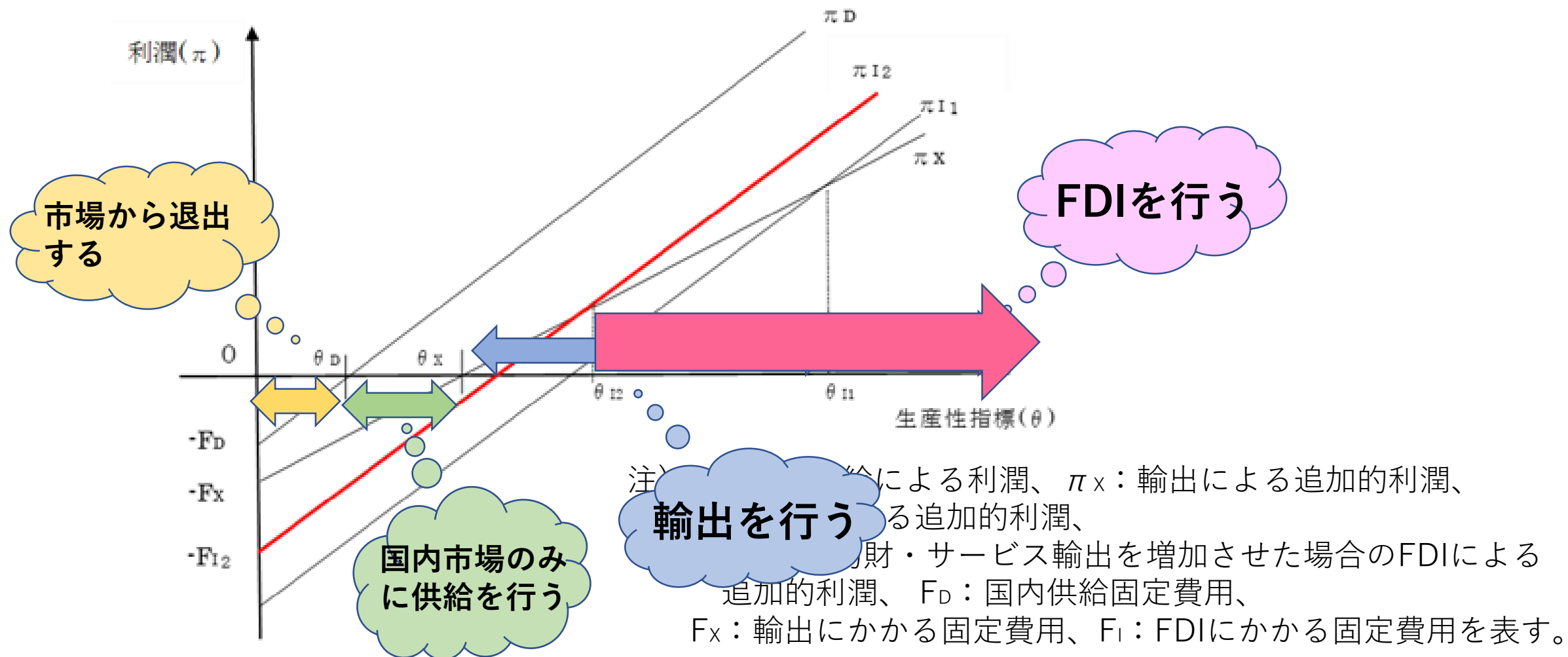
- ・ GDP …(1)、(3)式：負に有意 経済規模が小さい国⇒FDIを行う
(2)式：正に有意
- ・ 首都間距離…(1)式：負に有意 距離が近く文化的に似通った国⇒FDIを行う
(4)式：正に有意
- ・ 訪日外客数…(1)式：正に有意 来日経験により、日本に対する抵抗感が薄まる
⇒FDIにかかる固定費用低下 ⇒FDIを選択
- ・ 日本人出国者数…(3)、(4)式：正に有意 相手国の文化に触れ興味関心を抱く
⇒相手国からのFDIにかかる固定費用低下
⇒相手国からのFDI増加 = 日本へのIDI増加
- ・ WTOダミー…(2)、(4)式：負に有意
- ・ FTA/EPAダミー…(1)、(3)式：正に有意

新々貿易理論



注) π_D : 国内供給による利潤、 π_X : 輸出による追加的利潤、
 π_{I1} : FDIによる追加的利潤、
 π_{I2} : 文化的財・サービス輸出を増加させた場合のFDIによる追加的利潤、 F_D : 国内供給固定費用、
 F_X : 輸出にかかる固定費用、 F_I : FDIにかかる固定費用を表す。

新々貿易理論



現行の政策①

「クールジャパン戦略」



Japan. Cool Japan.

(出典：内閣府)

目的

世界の「共感」を得ることを通じ、日本のブランド力を高めるとともに
日本への愛情を有する外国人（日本ファン）を増やすことで、
日本の**ソフトパワー**を強化する。



失敗例) 三越伊勢丹マレーシアJapanモール

共感を得る<稼ぐ

現行の政策②

「文化庁の取り組み」

- ・文化庁メディア芸術海外展開事業

ー世界31の国と地域において83のフェスティバルや施設に参加



**JAPAN
MEDIA ARTS
FESTIVAL**

(出典：文化庁メディア芸術祭)

- ・芸術文化振興基金

ー 599件の活動に対し、9億5200万円の助成金
(平成31年度)



芸術文化振興基金

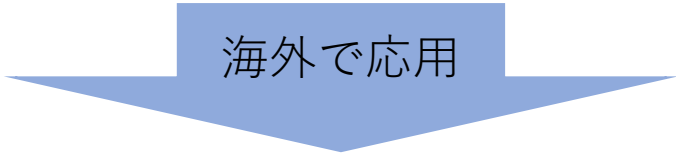
(出典：独立行政法人 日本芸術文化振興会)

政策提言①

海外での日本文化に関する学校行事を増やす

日本の初等教育における「伝統・文化」教育

- ・ 日本文化への理解を深めるきっかけ
- ・ 異文化への理解を育む第一歩



海外で応用

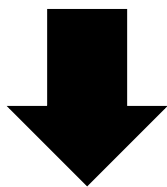
海外の学校に日本の伝統文化を派遣する

- ・ 早くから日本の文化に触れてもらえる
 - ・ 言葉が分からなくても楽しめるコンテンツ（ex, 歌舞伎や演劇）
- 楽しく学び、興味を持ちやすい

政策提言②

無形文化財（歌舞伎等）の海外公演を増やす

現在行われている歌舞伎：日本の昔の言葉が多く使用されている
→外国人が理解しにくい…



スーパー歌舞伎に着目

外国人向けのスーパー歌舞伎を作る



歌舞伎のハードルを下げてより多くの人に見てもらう



政策提言③

アニメや漫画等のファンイベントの開催を増やす

海外のアニメ・漫画市場は日本国内に比べるとかなり小さい
例) アメリカ：アメリカ国内の出版市場の約3%

一方で…

ファンイベントは近年増加傾向にある



まだファンイベントを行ったことがない国で開催
現在行われている国でより多く開催



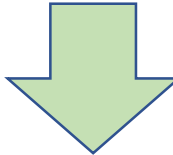
政策提言

①～③の政策提言を通して・・・

海外の人に日本の文化に触れてもらう機会を増やす



日本文化に興味を持ってもらう



文化的財・サービスの増加を図る



FDI・IDIの増加へとつなげる

まとめ

- 主な結果

- 文化的財の輸出増加はFDI額・IDI額の増加に正の影響を与える
- 文化的サービスの輸出額増加はIDI額の増加に正の影響を与える

- 政策提言

- ①海外での日本文化に関する学校行事を増やす
- ②無形文化財（歌舞伎等）の海外公演を増やす
- ③アニメや漫画等のファンイベントの開催を増やす

《参考文献》

- ・ 神事直人 田中鮎夢（2013年9月）「文化的財の国際貿易に関する実証的分析」 独立行政法人経済産業研究所 RIETI Discussion Paper Series 13-J-059 閲覧日2020年9月26日
<https://www.rieti.go.jp/jp/publications/dp/13j059.pdf>
- ・ 田中鮎夢（2008年4月）「文化的財の国際貿易：課題と展望」 独立行政法人経済産業研究所 RIETI Discussion Paper Series 08-J-007 閲覧日2020年9月26日
<https://www.rieti.go.jp/jp/publications/dp/08j007.pdf>
- ・ 南山大学 寶多康弘研究会（2019年11月）「文化的財の貿易が国際貿易に与える影響について」 ISFJ2019 最終論文 閲覧日2020年10月27日
http://www.isfj.net/article_search.html
- ・ Ivan Deseatnicov and Konstantin Kucheryavy (2016) “Exports and FDI Entry Decision: Evidence from Japanese foreign-affiliated firms,”RIETI Discussion Paper Series 17-E-036 閲覧日2020年8月14日
<https://www.rieti.go.jp/jp/publications/dp/17e036.pdf>
<https://www.rieti.go.jp/jp/publications/nts/17e036.html>
- ・ VIPO特定非営利活動法人 映像産業振興機構（2020）「メディア芸術海外展開事業 日本のメディア芸術を、世界へ」 閲覧日2020年10月22日
<https://jmaf-promote.jp/about.html>
- ・ 市川哲郎（2018）「UIS.Stad を用いたグローバル化と文化的財の国際貿易に関する実証的分析」 駿河台経済論集 第28巻第1号 閲覧日8月20日 <https://core.ac.uk/download/pdf/161652763.pdf>
- ・ 経済産業省（2015）「第一節 対内直接投資の意義と現状」 通商白書2015 閲覧日9月17日
<https://www.meti.go.jp/report/tsuhaku2015/2015honbun/i3310000.html>

- ・ 開発金融研究所 総務課 (2012年12月)「直接投資が投資受入国の開発に及ぼす効果」 「Foreign Direct Investment and Development: Where Do We Stand?」 閲覧日8月20日
https://www.jica.go.jp/jica-ri/IFIC_and_JBICI-Studies/jica-ri/publication/archives/jbic/report/review/pdf/13_02.pdf
- ・ 佐藤麻里絵 慶應義塾大学法学部政治学科 「“クールジャパン”の問題点とポップカルチャーの可能性」 閲覧日2020年10月25日
<https://sc62f1aacd976fa3c.jimcontent.com/download/version/1409817903/module/10149946092/name/11satoM.pdf>
- ・ 田中鮎夢(2011)「新々貿易理論の誕生」 閲覧日2020年10月25日
<https://www.rieti.go.jp/users/tanaka-ayumu/serial/004.html>
- ・ 中小企業庁 (2016)「中小企業における期外企業の取り組み」 閲覧日2020年8月15日
https://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/H28/h28/html/b2_3_3_1.html
- ・ 鶴由貴(2016年7月)「伝統芸能歌舞伎の海外展開に対する考察」 閲覧日2020年10月31日
https://iplaw-net.com/doc/2016/chizaiprism_201607_1.pdf
- ・ 東京都教育庁指導部 (2008)「日本の伝統・文化理解教育の推進」 閲覧日2020年10月26日
https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/document/tradition_and_culture/files/traditional_culture/dentoubunka.pdf
- ・ 独立行政法人 日本芸術振興会 (2017)「文化芸術振興基金」 閲覧日2020年10月26日
<https://www.ntj.jac.go.jp/sp/kikin.html>
- ・ 増田耕太郎 (2015)「対日直接投資～低い水準にある背景と改善するための課題～（回顧と展望）」 季刊 国際貿易と投資 Summer 2015/No.100 閲覧日2020年9月17日
<http://www.iti.or.jp/kan100/100masuda.pdf>

- ・ 李炅泰(2007)「原産地効果に対する戦略的インプリケーションの一考察」 経済論叢179(1): 32-48 閲覧日2020年9月3日
https://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/bitstream/2433/151163/1/kronso_179_1_32.pdf
- ・ CEPII “The CEPII Gravity Dataset”
http://www.cepii.fr/CEPII/en/bdd_modele/presentation.asp?id=6
- ・ 「OECD library」
<https://www.oecd-ilibrary.org/statistics>
- ・ 「UNCTADSTAT」
https://unctadstat.unctad.org/wds/ReportFolders/reportFolders.aspx?sCS_ChosenLang=en
- ・ 一般財団法人 国際貿易投資研究所2004年「III サービス貿易（国際比較統計）」
<http://www.itl.or.jp/servicestat.htm>
- ・ 財務省 「個人的、文化的、娯楽サービス」
https://www.mof.go.jp/international_policy/reference/balance_of_payments/bp_trend/bparea/rbp/a-1/6a-17.csv
- ・ 財務省 「対外・対内直接投資の推移」
https://www.mof.go.jp/international_policy/reference/balance_of_payments/bpfdii.htm
- ・ 日本政府観光局「訪日外客数・出国日本人数データ」
https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/visitor_trends/index.html
- ・ 日本政府観光局「訪日外客統計(報道発表資料)」
https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/data_info_listing/index.html?tab=block11